

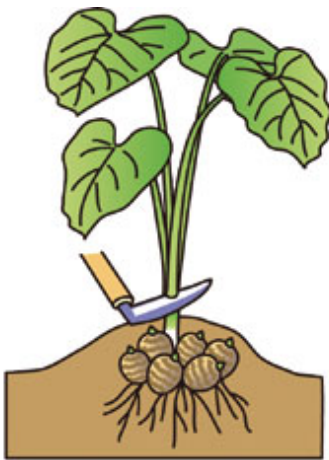
サトイモの収穫と上手な貯蔵のコツ

サトイモの主成分はでんぷん類、このでんぷんは加熱すると糊化し、消化吸収しやすくなります。カリウムは芋類の中では最も多く、高血圧予防に効果的です。

タンパク質、ビタミンB群、Cなどを多く含み、栄養価が高いのが特徴、しかも食物繊維も豊富で水分に富み、意外に低カロリー、体重が気になる方にもお勧めです。

秋になって盛んに育ち、芋が肥大したサトイモは、晩秋に入ると育ちが止まり、収穫期を迎えます。

収穫適期の目安は、葉の緑が黄化し始め、葉が少し垂れ気味になった頃です。サトイモは寒さに弱く、1〜2回霜を受けただけで葉は容易に枯れてしまいますが、この頃が収穫の限界です。掘り遅れると品質を損ねるだけでなく、貯蔵した場合の故障芋が多くなってしまいます。



あらかじめ葉と葉柄を切り取り、作業しやすくしておく



芋が外れたり傷ついたりしないよう注意して掘り上げる

あらかじめ葉身を地上5〜6cmの高さで、鎌で刈り取っておきます。芋や根は強大到太っているので、株の側方に大きくくわを打ち込んで、子芋や孫芋を外さないよう注意して、株全体を丁寧に掘り上げます。

すぐに利用する場合は、その場で全ての子芋、孫芋、ひ孫芋を親芋から取り外します。多数の株を効率よく取り外すには、外側の外れやすい子芋を取り除き、残った株を手で持ち上げて、大きなビール瓶などで横から強く打つと、案外傷つかずによく外れ落ちます。

貯蔵する場合には、子芋、孫芋などを外さないよう、特に注意して取り扱います。外れてしまうとその傷口から傷み始めるので、貯蔵中の故障株が多くなります。

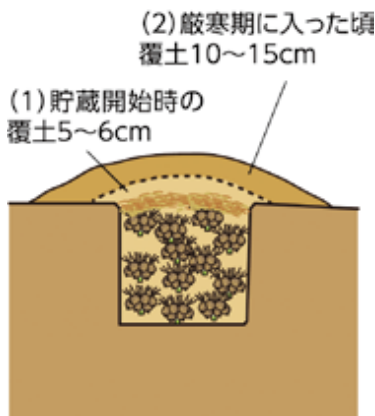
貯蔵する場所は排水の良い畑を選んで、幅40〜50cm、深さ60cmぐらいの貯蔵穴を設けます。そして掘り起

こした株を丁寧に運び、地上部の切り口を下方に向けて丁寧に積み重ね詰め込みます。反対に詰めると子芋が離れやすく、傷口から腐敗する芋が多くなります。



切り口を下に向けて詰め込む

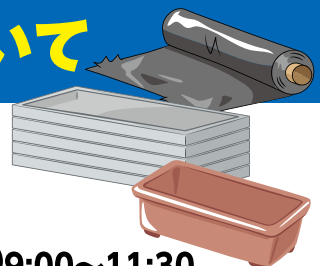
貯蔵穴を全部詰め終わったならその上に麦わら、稲わら（カヤが得られれば最高）などで覆い、5〜6cm覆土しておきます。さらに厳寒期に入った頃に10〜15cmの覆土を追加して寒さから守ります。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

農業用廃プラスチック回収について

農業用プラスチック類は、産業廃棄物に該当するため、責任をもって処理する必要があります。今回、管内の農家の方々を対象に、農業用廃プラスチック類の一括処理を実施します。



平成30年**12月1日** 9:00~11:30

近江カントリーエレベーター・神照カントリーエレベーター

平成30年**12月8日** 9:00~11:30

伊吹カントリーエレベーター・長浜カントリーエレベーター

対象となるプラスチック

○農業用ポリ ○育苗箱 ○畔波シート ○肥料袋 など

※廃タイヤ・農薬のガラス瓶・中身が残っている肥料袋などは回収することが出来ませんのでご注意ください。

当日、委任状兼口座振替依頼書がない場合、または記入漏れがある場合は受付できませんので、ご注意ください。書類については各支店窓口にございます。